

掲載記事のご報告

媒体名	日刊旅行通信
発行	航空新聞社
発行日	2017年12月12日(火)
掲載箇所	P3【旅行関連】
タイトル	「海外出張管理にも活かせる AI/RPA」 GBT 日旅がフォーラム開催



(左)GBT 日旅 内山 社長、(右)日本 CFO 協会 中田 主任研究委員

★「海外出張管理にも活かせる AI/RPA」 GBT 日旅 がフォーラム開催

アメリカンエクスプレス・グローバルビジネストラベル・日本旅行(GBT 日旅)は、先日都内ホテルで「ビジネストラベルフォーラム 2017」を開催した。「海外出張管理にも活かせる AI (人工知能)/RPA(ロボティクス・プロセス・オートメーション)」をテーマに、日本 CFO 協会主任研究委員(有限会社ナレッジワーク社長、公認会計士)の中田清穂氏を招いた基調講演のほか、GBT 日旅によるプレゼンテーション、スポンサーのアエロフロート・ロシア航空、ヒルトン・ワールドワイド、デルタ航空、シャングリ・ラ ホテルズ & リゾーツ(発表順)によるセッションも行われた。

冒頭、GBT 日旅代表取締役社長の内山博生氏は、「グローバル化により、出張費の効率化やコスト削減がこれまで以上に求められている。AI や RPA といった新しい技術が飛躍的に向上するなか、BTM(ビジネス・トラベル・マネージメント)において、こうした IT 技術をどうやって活用できるかを提案したい」と挨拶。

基調講演では、中田氏が事例を挙げながら AI と RPA による業務の自動化について紹介。開発コストがかかり、技術的にもまだこれからの部分が多い AI と比べ、RPA は「比較的導入しやすい」と指摘。システム化するまでの作業ではないものの、煩雑な手作業が伴う業務が RPA に適しており、プログラミングの知識がなくても簡単に RPA による自動化できる点を強調した。

RPA 導入のポイントとして、中田氏は「お金と時間をかけずに、RPA を構築することが大前提」と提案。具体例として、試供版のソフトを使って、毎日の為替レートを銀行のウェブサイトからエクセルにコピー & ペーストする作業を RPA 化するデモンストレーションを披露、RPA 化に適した業務の洗い出し方についても指南した。

GBT 日旅からのプレゼンテーションでは、出張者の好みに合わせた提案ができる「B to C のようなサービス」として、出張規定に遵守した上で、出張者に合わせたホテルがモバイル機器で手配可能な「Trip Recommender」や、わずか 2 画面で出張手配と承認が完了する「KDS NEO」(日本での導入時期は未定)など、開発中のソリューションを紹介。

各スポンサーからは、アエロフロート・ロシア航空が日本就航 50 周年や乗り継ぎの利便性、サービス内容について、ヒルトン・ワールドワイドからは、デジタルキーやチェックアウト、各フロアの見取り図から客室が選択可能な機能など、先進の機能を盛り込んだアプリケーション、デルタ航空からは 2017 年 10 月 31 日に成田-デトロイト線に投入した新機材 A350-900 型機の機内サービス(デルタ・ワン スイート、デルタ・プレミアムセレクト)と法人向けサービス、シャングリ・ラからはホテルブランド(シャングリ・ラ、トレーダーズ、ケリー、ジェン)やホテル展開について紹介した。

※本記事の著作権は
発行者に属します